



2012~2013年度 ウィークリーレポート

# Weekly Report

国際ロータリークラブRI会長テーマ  
RI会長 田中 作次

奉仕を通じて平和を

真岡ロータリークラブ会長テーマ  
真岡ロータリークラブ会長 石田 順一ロータリーを学び  
元気なクラブを作ろう

2013.2.14 No.2644

国際ロータリー第2550地区  
真岡ロータリークラブ司会  
点鐘  
ロータリーソング  
ゲストSAA 金子正男君  
会長 石田順一君  
奉仕の理想  
真岡市長 井田隆一様

## 会長挨拶

井田市長様には、公務ご多用の中私どもの例会にお越しいただき卓話を頂きます事にクラブを代表致しまして厚く御礼申し上げます。また、台湾斗六との様ざまな交流事業に付きましても大変なご協力いただいております事にも改めて御礼申し上げます。お聞きしましたところ、来年は市政60周年を迎えるとのことで、記念イベントを予定されているようです。是非、真岡ロータリークラブにお手伝いできることがあるようでしたら、喜んで御協力させて頂きたいと思っております。市長さんにおかれましては、この後も公務が有ると言う事ですので、私の挨拶はこの辺に致しまして、市長さんに少しでも長くお話ををして頂きたいと思いますので、挨拶終わります。有難うございました。



## 幹事報告

幹事 宇賀神裕一君

益子RC会場・時間等の変更及び休会について

2月20日(水)アプローズ益子18:30~例会・合同家庭集会

3月20日(水)休会・3月27日(水)親睦旅行の為振替休会

## スマイルボックス

スマイル委員会委員長 中川 宏行君

石田 順一君 市長様、本日は卓話ありがとうございます。真岡市の未来の明るいお話を聞かせてください。健康に留意されまして、ご活躍下さいませ。

宇賀神裕一君 井田市長様、本日はお忙しい中卓話有難うございます。

広瀬 紀夫君 真岡市長井田様、卓話ありがとうございます。

岡部貞一郎君 市長の卓話を歓迎して

篠原 泉君 公務ご多忙の中、卓話をいただきありがとうございます。よろしく、お願ひ致します。

篠原 宣之君 井田市長様、本日は卓話ありがとうございます。2期目に向かってイダノミクスを発揮され元気な街づくりに大いに期待しております。

杉山 欣君 井田市長さん今日は卓話ありがとうございます。昨日は72才の誕生日で、今日はバレンタインデーあまり期待できませんね。

金子 剛士君 井田真岡市長ようこそお越しいただきました。

## MU会場案内

月曜日

宇都宮90 東武ホテルグランデ  
小山中央 思 水 莊

火曜日

真岡西 グランドホテル静風  
宇都宮東 ホテルニューアイタヤ

水曜日

益子 益子カントリー  
しもつけ 石橋商工会館

木曜日

宇都宮西 東武ホテルグランデ  
宇都宮北 宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東 ヴィラ・デ・マリアージュ  
小山

会長 石田 順一

幹事 宇賀神 裕一

会報委員 柳 浩雄・大越 正和・中村 友宣・豊田 光弘

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(真岡商工会館内)

TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

sweet.ocn

e-mail:rc-moka@iberry.ne.jp

ます。前年度に比較いたしまして、13億8500万円5.7%増加させていただきます。全体の予算でありますと504億9040万円全体では4億5600万円の0.9%増(8つの特別会計・水道事業会計など)になります。

今申し上げましたように、予算編成を進めていく中で、市税は120億円863万円で前年度に比べますと2億345万円の1.7%の減少になっております。一番落ち込みが大きいのが法人市民税であります。

平成19年には、30億円を超えた法人市民税が、今は10億円を割るような状況になっております。アベノミクスが浸透していくばかりの日本経済と言うものに復活してもらえるのだと思っております。このような状況下で有りますが、予算編成をいたしました。特に今回の予算につきましては、新たな事業予算を組みました新聞にも出ておりましたが、小・中学校にエアコンの設置あるいは子供達の肺炎のワクチンとかインフルエンザ等の補助事業を実施しようと25年度予算に盛り込んだ部分もござります。なにしろ今回の予算の大きな予算編成になっているのが今まで積み上げてきた仕事の、25年度は総決算に成るものと思っております。たとえば、運動公園が23・24・25年度で完成させようと運動公園の中の陸上競技場を進めてきております。また、市民会館につきましても、いろいろ経緯がありましたら全体額で16億の耐震化及びリニューアル化を図ることで進めてきております。また、真岡に観光拠点を作ろうと言うことで、久保さんのお宅を買わせていただきてそこに、観光の拠点施設を作ろうと進めてきております。そのような大きな事業が、この予算額を押し上げた要因であります。皆さん、御心配のようにこれら予算を行なう上で、起債(借金)につきましては、今までを超えております。

今回はこうしたものをやって行くのに起債が30.2%増になっております。特に市民会館・総合運動公園そういうところに起債を充当させているわけであります。市民会館につきましては合併推進債というものを使わせていただきて、この合併推進債は今年度において交付税ということで返って参ります、40~50の範囲の中返って参ります。合併推進債を使って将来的に市民の皆様の負担にならないような、そういう考え方で進めています。

これから、庁舎の建設というものが入ってきますがこの庁舎の建設につきましても、合併推進債を使って行きたいと思っております。この合併推進債を使うこと今年度一時的にはお金を借りて工事をしますが、償還金をお返しする時にそのうちの何割かが交付税として算入されると言ふことでございますので他に補助金が少ない状況でもありますのでこの合併推進債を使って事業を推進していくというのが有利なことであると考え行っているものであります。また、新たな事業につきましては機会がありましたら話をさせていただきたいと思います。

今24年度の予算執行を行なっているわけであります最初は213億円の予算を組みましたが、現実的には300億円を超えております。そういう環境の中でいろいろな事業執行をさせていただきておるわけでござります。その中でいま真岡市でどのような事業が行われておるかと申しますと、まず一昨年の3月11日の東日本大震災それと昨年5月6日の竜巻被害において真岡市も大きな被害を受けました、皆様には心からお見舞い申し上げるところですがこれもやはり被害を受けたものを、被害を受けたんだ、ああいつた被害が有ったんだと言うことではなくて将来に向かって対策を講じていかなければならぬ。非常に私どもにすれば、これを教訓にして新たな事業を展開していくかなければならないと言うことで24年度中においても沢山の事業を行なってきたところでございます。特に皆様にご不便をおかけした、水道が断水をしました、これは配水する力はあったの

ですが、くみ上げる力がなかつたわゆる井戸から水をくみ上げる電力がなかつたということで、そこで全ての源泉に簡易水道を含めて自家発電を付けました。これからは、途中の管が断続しない限りは水が送れるということになろうかと思っております。また、一般的の皆様の生活用水を確保するために、地域の皆様にお願いしまして、地域にある井戸を是非とも活用させていただきたいということで、井戸の有る家これからそういう看板が出てくるかと思います。もし災害が起きて水道水が、給水がまもなく事になった時にはその家庭に水を分けていただくということを是非とも皆様にやつていただきたいと進めているわけであります。これは停電にもなりますので、これについても50台程これは避難所を含めて自家発電装置を購入発注を致しました。これから防災計画を作つて参りますが、すでに作成に入っていますが震災編の充実と原子力編を加えなければならぬと考えております。ここは東海原発から53キロ(市役所)の距離にございます。30キロ以内ですとすぐに避難勧告がなされてすぐに避難しなければならないが、しかし53キロだから安心していられるという状況でもございません。事前に対策を積み上げなければならないと思っております。そして、防災マップをもう間もなく皆さんの家庭に配布出来るかと思いますがもうすでに、防災マップは2回ほどお届けさせていただいたのですが、今まで真岡の地区はあまり自然災害にあつた事はありませんでしたので、防災マップをお届けしてもあまり見てもらえたかったのですが、今回はぜひ一読していただきたいと思います。そして避難所の場所を確認しておいていただければと思っております。これは浸水の場合ここで鬼怒川・五行川・小貝川が氾濫すると言うことがありますので、特に五行川が氾濫したときの浸水区域がどこなのかということをその際にはどこに避難したら良いのか、浸水の場合と、震災の場合とでは避難場所が変わつてまいります。是非とも皆さんに確認の上利用頂ければと思っております。また、今防災無線を204基付ける予定であります。震災及び竜巻がありましたので急速67基を今年度中3月までに増設しようとしております。なお、1基で半径500メートルが聞き取れるという計画で進めております。一昨年の11月4日デマンドタクシーを運行させていただきました、5年後には24~25%の高齢化率が上がるかと思っており、分母が増えない限りはさらに高齢化率は高まる可能性があります。そういうことを踏まえて交通弱者・市の中に多くの皆様に出かけもらいたいと言う事で、いちごタクシー・コミュニティバス運行の計画を致しました。25年度中に全ての検証を行い、26年度の本格運行の中に活かしていきたいと思っております。